

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
倭文庄田地区

平成22年8月

兵庫県南あわじ市

フォローアップ状況

様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	事後評価より達成度が低い場合		備考 (仮に確定値が出せない場合の理由等)
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	生活環境の満足度	点	50	75	75.8	確定 見込み ●	○	あり なし	76.2	H22年8月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標2	各種サークル団体の数	個	0	3	3	確定 見込み ●	○	あり なし	3	H22年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標3	プランターの数	個	0	100	18	確定 見込み ●	×	あり なし ●		○年○月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標4						確定 見込み		あり なし		○年○月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		○年○月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1から転記

様式1-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	事後評価より達成度が低い場合		備考 (仮に確定値が出せない場合の理由等)
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	居住人口	人	662	/	770	確定 見込み	/	/	776	H22年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2	こども交通環境満足度	%	/	/	73.0	確定 見込み	/	/	74.4	H22年7月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/		確定 見込み	/	/		○年○月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1から転記

様式1-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	居住人口の増加	居住人口を維持し増やすために、少子化対策や若年層の島外流出を防ぐ施策を展開する。	居住人口を維持し増やすことができた。	
	地域コミュニティの活性化	まちづくり推進活動による地域コミュニティ活性化の相乗効果をふまえ、地域の魅力を再発見し、地域力の向上や住民活動の連携と事業との継続的な連携を図る。	まちづくり推進活動により、地域コミュニティの活性化を図ることができた。	
	交通環境の向上	適切な道路維持管理を行っていくことにより、良好な交通環境の維持を図る。	良好な交通環境の維持を図ることができた。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	他路線における地域の利便性及び交通環境の向上	市道庄田線に接続している県道倭文五色線の市立倭文保育園前から市立倭文小学校前までの区間及びびしづおり団地から県道洲本松帆線倭文長田交差点までの区間に、新たに歩道を新設する。	市道庄田線に接続している県道倭文五色線の市立倭文保育園前から市立倭文小学校前までの区間及びびしづおり団地から県道洲本松帆線倭文長田交差点までの区間の一部区間に、平成22年度中に新たに歩道を新設する予定です。	引き続き、兵庫県と共に、県道洲本松帆線倭文長田交差点までの区間の歩道新設の促進について連携します。

様式1-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
		○年○月	

都市再生整備計画(精算報告)

しとおりしょうだ
倭文庄田地区

ひょうご みなみ
兵庫県 南あわじ市

- ・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。
- ・精算報告として、各交付対象事業の確定額等を入力すること。(最終変更版ではない。)

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	兵庫県	市町村名	みなみし 南あわじ市	地区名	しほりしよだちく 倭文庄田地区	面積	49.8 ha
計画期間	平成 17 年度	～	平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度	～	平成 21 年度

目標							
大目標 多様な世代が支え合う、地域コミュニティに満ちた市の副拠点の創造							
目標1	市の副拠点にふさわしい多様なニーズに対応した良好な居住環境の形成を図る。						
目標2	住民によるまちづくり活動等を支援することにより、地域コミュニティの形成を図る。						
目標3	道路整備の実施により地域の利便性を向上し、交通環境の向上を図る。						

目標設定の根拠							
まちづくりの経緯及び現況							
<p>・本市は、兵庫県淡路島の南部に位置し、洲本市と隣接する自然あふれる市である。平成10年4月に開通した明石海峡大橋により、京阪神から人、物の流れが大きく変わろうとしており、神戸淡路鳴門自動車道洲本インターチェンジに近い位置にあることから都市化が進展しつつある。計画区域は、市北西部に位置し、支所があるなど市の副拠点としてまちづくりが進められている。近年では、安心・安全な暮らしを実現すべく防災拠点センターの建設など多角的なまちづくりが展開されているところである。</p> <p>・近年、県道等道路状況の改善により交通事情が変化したことによりアパートの建築など民間投資が見られる。また、喫茶店、理髪店、商店等の貼りつきも見られる。</p> <p>・既存市営住宅の隣接地で地区老人会が主体となった日曜市が開催されるなど地域コミュニティの醸成が見受けられる。</p> <p>・上記記載のまちづくりが展開されてはいるが、まだまだ、本市中心地である広田地区と比較し、道路整備を始めとする社会基盤整備、宅地の需要量等に遅れをとっており、このことから、更なる地域コミュニティの向上が必須である。</p> <p>・平成17年1月の行政合併から、合併後の各地区への予算配分等を懸念して地域住民より、まちづくりについての諸施策の要望が多く寄せられ、住民参画のまちづくりの気運が盛り上がった。</p> <p>・都市再生整備計画の策定に当たり、3回の行政懇談会(延べ参加人数150人)を実施し、計画の内容やその進め方について協議・提案を行った。</p>							

課題							
<p>・人口減少・高齢化また、これに伴う地域コミュニティの希薄が顕著な計画区域においては、本整備計画の目標に掲げるまちづくりが最大かつ喫緊の課題である。</p> <p>・本計画区域を始めとする倭文地区は、市中心部の広田地区と比較し、過疎化傾向が見受けられるなど様々な面で発展が遅れている。このことから、本計画区域を市の副拠点として整備すべく、良好な居住環境を形成を図り、人口の定着を図る必要がある。</p> <p>・本計画区域においては、人口減少の影響から他地域に比べ、地域コミュニティの希薄、またまちづくりへの参画の意欲が薄いように思われる。</p> <p>・本計画区域のメインストリートである市道庄田線は、歩道が狭く交通安全面の問題が多い。地域の住民が安心して歩行できる道路整備が急務である。</p>							

将来ビジョン(中長期)							
<p>南あわじ市総合計画及び緑町都市計画マスタープランにおいて、計画地区である庄田地区は、市街地副各ゾーンとして、公共施設等の生活に必要な施設の充実を図り、市街地形成と人口増加に向けた住宅建設の促進、また生活利便性の向上のため、商店等の立地促進や地域間アクセスの強化と地域内幹線道路整備などの社会基盤整備等の施策を計画している。</p>							

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. 生活環境の満足度	点	地区住民による生活環境の満足度(満足度アンケートによる)	社会基盤整備の遅れなどにより居住環境が不十分なことに対して、地区住民が計画期間終了後、以前より満足する環境を目指す。	50	平成16年度	75	平成21年度
2. 各種サークル団体の数	個	当地区における市文化協会に所属しているサークル団体数	サークル団体の増加を目指す。これにより、地区住民の交流を図り、地域コミュニティの形成を図る。	0	平成16年度	3	平成21年度
3. ブランターの数	個	当地区における沿道のブランター数	道路整備を実施し、安全面を確保することに加え、沿道にブランターを設置することにより通行者の目を楽しませ、交通環境の向上を図る。	0	平成16年度	100	平成21年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(良好な居住環境の形成、人口の定着)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口定着及び多様な世代が支え合う地域コミュニティに満ちたまちづくりを推進するため公営住宅を整備する。 ・高齢者に安全な暮らしを実現するため、オール電化設備を提供する、公営高齢者向け設備整備(地域創造支援事業)を実施する。 ・少子化、若年層の市外流出を防ぐため、出産祝金の支給や島外通勤・通学者の交通費を助成するソフト事業を実施する。 ・良好な居住環境を形成すべく、安全面、衛生面に配慮した、市道整備事業やコミュニティプラント整備事業を実施する。 ・社会基盤を確立すべく、市道整備事業、コミュニティプラント整備事業を実施する。 	<p>公営住宅等整備(基幹事業)、公営高齢者向け設備整備事業(地域創造支援事業)(提案事業) 市道庄田線整備事業(基幹事業)、島外通勤・通学者交通費助成金交付事業(関連事業)、出産祝金支給事業(関連事業)、コミュニティプラント整備事業(関連事業)</p>
<p>整備方針2(地域コミュニティの形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民へ花いっぱい運動への参加を呼びかけ、それをひとつの契機にして住民のまちづくり意識の高揚、まちづくり活動の活性化を図る。 ・農地、農道、ため池などの地域資源環境の保全を図ることで、地域環境の向上を目指すとともに、地域ぐるみでの管理・維持保全活動を通じて地域コミュニティの醸成を図る。 	<p>花いっぱい運動(まちづくり活動推進事業)(提案事業)、農地水環境保全向上対策事業(関連事業)</p>
<p>整備方針3(交通環境の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道整備を実施し、交通環境の向上を図る。 ・歩行者の快適性の向上を図るために沿道等に植栽を実施する花いっぱい運動(まちづくり活動推進事業)を展開する。 	<p>市道庄田線整備事業(基幹事業)、花いっぱい運動(まちづくり活動推進事業)(提案事業)</p>
<p>その他</p> <p>○交付期間中の計画の管理について 交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、毎年、事業成果について評価や事業の進め方の改善等を行うための行政懇談会を実施する。その結果については、随時、住民に情報公開する。</p>	

